

第 21 回 ひびき薬剤耐性菌シンポジウム 参加報告

2025 年 6 月 21 日（土）～22 日（日）にマリンテラスあしやで、小倉記念病院検査技師部 白濱智美会長の下 2 日間にわたり開催されました。本会は、土曜の午後から開始し、懇親会および深夜までナイトセミナーを行うというのが恒例の研修会ですが、COVID-19 の流行に伴い 2019 年を最後に宿泊研修会は実施していませんでした。会場のキャパシティー 65 名に対して、参加者は 61 名であり、6 年ぶりの宿泊研修会でしたが、盛況でした。当院からは、院長をはじめ 4 名が参加しました。7 月の日本環境感染学会での発表の練習も兼ねて、一般演題 3 として菱谷さんが、「OXA-1 および ESBL 同時産生大腸菌の分離状況」について発表しました。参加者のほとんどが急性期病院に勤務しているため、在院日数 400 日ということが理解できないようでした。発表の構成について分かりにくい等の指摘があり、日本環境感染学会の発表では修正が必要と思われました。

内容は、ワークショップ「臨床医の質問にどう答えますか?」、一般演題 4 題、企業セミナー 8 題、教育講演 6 題、第 17 回 ひびき臨床微生物研究会サーベイ解説で構成されていました。参加者は耐性菌に携わっているコアな人がほとんどを占めているので、質疑応答は活発に行われていました。

